



その偉大なエルサレムが反キリストに悪用され、そこに造られた神殿の中に反キリストの偶像が据えられた。偉大であったはずのエルサレムが反キリストによって汚された。なので、この汚されたエルサレムを神は裁いて、3つに裂いたんですね。

## 2) 諸国の民の町々は倒れた

イスラエルの首都エルサレムが倒れただけでなく、**諸国の民の町々**（異邦人の大都市）は倒れた。ユダヤ人以外のすべての民族・国語・国民の国々の主要都市が倒れた。エルサレムだけでなくニューヨークも・北京も・東京も・ロンドンも・パリも・ベルリンも、世界中の大都市がことごとく倒れてしまった。

世界の繁栄都市が、なぜ一網打尽でやられてしまうのか。この地震がローカル地震ではなく、全地球を揺るがす規模の超巨大地震だったからです。そして、これらの町々は反キリスト帝国と繋がることで繁栄を享受していました。だから、サタンの滅亡と共に、サタンに付き従った町々も滅ぼされるのです。

## 3) 神は大バビロンを忘れず、ご自分の激しい憤りのぶどう酒の杯を与えられた

大バビロンも異邦人の町の1つですが、別格扱いですね。反キリスト帝国の首都**大バビロン**こそが、全世界をサタン礼拝に導くために機能していたセンターでした。そこに反キリストが鎮座ましまし、政治・経済・宗教の中心地として、全人類を支配していたのです。

しかし、彼の指示や命令に従わない人たちもいたんですね。

◆**艱難時代に本当のキリストに出会った人たち**（クリスチャン）。彼らは反キリストの正体を見破っています。

◆**ユダヤ人**。ユダヤ民族は後半3年半、反キリストから目の敵にされます。彼らはイエスをキリストと信じていませんが、反キリストを偶像礼拝することだけはできなかったんですね。その彼らが地上再臨の3日前にキリストを信じるのです。

クリスチャンとユダヤ人に対して情容赦ない迫害を加えて来たのが反キリスト。

その帝国の中心が**大バビロン**でした。

欲望を究極まで解放し、多くの血を流し、無辜の民を踏みにじり、悪の限りを尽くしていた都。

その都に神は最終的に裁きを下される。それが行われるのは艱難時代の最終日です。

艱難時代は2520日きっかりです。2521日目には終わってます。2520日で終わる。

その最終日、神は超巨大地震によって、反キリストが造った繁栄の帝国を粉々にしてしまうのです。

今回は、超巨大地震がもたらす4つ目の事をお話します。そして、この地震が起こる本当の原因は何か、何がこの地震をもたらしたのかについても解説します。

チャンネル登録もお願いします。ではまた とうちゃんねるでお目にかかりましょう。

皆さん、お元気でいてください。さよなら！

☆引用：新日本聖書刊行会「聖書 新改訳 2017」 いのちのことば社,2017